

鴨長明 方丈記より

●今つづながる所(2)



方丈記 養和の飢饉

『築地のつら、道のほとりに、飢ゑ死ぬるものたぐひ、数も知らず。〜くさき香、世界に満ち満ちて、変わりゆくかたち、目もあてられぬこと多かり。〜』

1181年長明さん27歳、養和の飢饉では京都市民の半数の42300人余りの人が亡くなったといえます。

飢饉の原因は少雨や日照りという長期の不順だけではなく、うち続く源平の争乱で田畑は荒れ果てて、収穫どころではなかったんですね。



餓鬼草子1(ネットより)

そんな時長明さんが目にしたのは

『いとあはれなる事も侍りき。さがたき妻、夫持ちたるものは、その思ひまさりて、深きもの、必ず先きだちて死ぬ。〜』

飢饉で食べ物が手に入らない状況の中、相手を大切に思う人がたまに手にはいった食物を相手に譲ってしまい、自分を後にするために先に死んでしまうというのです。それが親子の場合なら、親の方が先立って死んでいった。

歴史の中で

「飢饉の最古の記録は、『日本書紀』の欽明天皇28年(567年)、『郡国(くにぐに)大水いでて飢ゑたり。或

いは人相食(くら)ふ』(「病と人間の文化史」・立川昭二)とあります。

この時から約1300年後の明治2年(1869年)までに225回の飢饉があり、江戸時代の天明飢饉(1788年〜1788年)は近世最大で、悪天候や冷害があり農作物の収穫が激減していた所に、東北地方を中心に岩木山や浅間山の噴火でその火山灰の噴出物が陽光を遮り、壊滅的な被害がでて、深刻な飢饉状態に。その内疫病も。道路には死人が山のように横たわり、その悲惨な状態には目も当てられなかったといえます。

90万人以上の餓死者がでた。天災ばかりではなく、農業の軽視など人災とも言われます。1787年には米屋の打



餓鬼草子2(ネットより)

ちこわしが起こります。ここでも人肉を食べた話、亡くなった人の肉を交換し合った話が出てきます。このたよりに載せている餓鬼草子は飢えと渇きに悩みながら人間界に出没する餓鬼(生前の悪行のために餓鬼道に落ち、いつも飢えと渇きに苦しむ亡者)の諸相を描いた絵巻物のことで、平安時代末期〜

鎌倉時代初期のもの。世相を反映していたんですね。でも、現実の方がもっと悲惨だったのではないのでしょうか。

時間を越えるもの

方丈記は無常の文学とよく言われます。この世の中の一切のものは常に生滅流転して、永遠不変のものはないと。でも、この方丈記の『いとあはれなる事も侍りき。さがたき妻、〜』の所で長明さんが見たものは、時間が経っても消えてゆかないもののように思えます。自分さえ良ければいいという、それまでの動きとは全く違う人の情愛が感じられて、とても哀しいけれど気持ちが救われたようにもなります。これは無常では語れないところ

で、危機の時には見えない所でこういう関係がきっとあるのではないのでしょうか。

世界の飢餓のこと

食料は全世界に均等に分配できる量は十分あるというのに、世界では今も飢餓

が。飢饉ということだけではなく、内戦等の戦争や農業政策により、一方で有り余る食料と、一方で飢えというとても不均衡な世界が見えてくる。

そんな世界の中で私たちは生きていますと以前このたよりに書きました。

世界人口80億人中8億2800万人が飢餓状態に。そこに新型コロナ、ロシ

八幡まるごと館だより

2022年8月17日/152号

＜発行＞八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

アのクライナ侵攻が起こり更に増加したと言われてい
ます。右の図は国連世界食糧
計画ハンガーマップ 2021 で
す。青色以外で色が濃くなる
程飢餓率が高い所です。日本
でも子ども食堂、大人の貧困
が増えていて食べるのに困
っている人が多くなっています。



長明さんからのメッセージかな

800 年前の方丈記からこういう所ま
で読み取れるんですね。今は特に色々な

ことが起こり、これからの子どもたちが困ら
ないように大人がしっかりしなければと思
います。人と人の気持ちが通じるのが一番大
切ですね。それで人は生きていけますから。

＜7月にこんなことをしました＞

八幡の歴史



7日 2017年11月に“歴史を訪ねて”で
八幡宮に行き、出口修さんから案内をして
いただきましたが、この日の講習を受けて
から行けばより理解ができたのではない
かと思いました。八幡宮全山を取り仕切っ
た護国寺、松花堂昭乗の泉坊と閑雲軒の場

所に(ました今は何もないですが)。男山48
坊と言われたくらい八幡宮が賑やかで、毎
日読経が全山に響いていたのでしょ。う。
色々想像してみたらちょっとワクワク
してきます。明治の廃仏毀釈で仏関係が無
残にも処分され、分散され、惜しいです。

オカリナひまわり



18日(写真の日) いつものようにゆっくり
と取り組んでいます。コンサートが実施出来
るかわからない状況ですが、練習を重ねて、
いつでも可能な状態にと思っています。初期
に比べ井やりがついた曲、高温のファや低音
のラの音などの曲が登場し苦労しています。

時間はかか
りますが、皆
で達成でき
た時は嬉し
いです。期待
して下さい。



29日 紫外線

チェッカーを
木下章司さん
は用意して
下さって、

理科の実験



楽しみました。紫外線のお話から、日本で虹は
七色(赤・橙・黄・緑・青・藍・紫)と言わ
れていますが海外では違
うそうです。実

は内側の紫
の内に目には見えてい
ない紫外線が、一番上
の赤色の外には赤外線が存在すると。紫外線
は人の肌に良くない、野菜も一緒だそうです。
アントシアニンを多く含む野菜はその色で守
っているそうです。今回は紫外線を浴びると
色が変わるビーズで腕輪やス
トラップを作りました5万回
使用可能。木下さん宮地さんい
つもありがとうございます。

**八幡まるごと館 8月・9月の予定 休館 8月11日(木)午後
8月13日(土)~8月18日(木)**

<p><パソコン教室> 毎週月曜日 10時~12時です 8月1日(月)10時~12時 パソコンを持って来て下さい。費用 300円(コーヒーつき)</p>
<p><オカリナクラブ ひまわり> 楽しめる時。8月中はお休みにします。次は9月5日 8月1日(月)13時~ 参加費100円 全員参加ではありません 練習日は月曜日です</p>
<p><歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N037> わかり次第連絡いたします 8月25日(木)13時30分~ 講師出口修さん 参加費100円 月1回です</p>
<p><合同絵手紙展> 文化センターミニギャラリーで絵手紙展 どうぞお越しください 9月1日(木)~9月11日(日)9時~17時30分、ただし、9月7日(水)はお休みです。 森本玲子さんに教えていただいている八寿園、コスモス男山、市民交流センター、 第3住宅、八幡まるごと館、やまびこ、個人有志での合同絵手紙展です。</p>
<p><パッチワーク講習会> 9月7日(水)、9月22日(木)13時30分~ 講師 西角千代子さん、前川和子 さん 持ち物 裁縫道具、ハサミ、鉛筆、さし 材料費込みで参加費 1800円→ 2100円に変更 10名までです</p>
<p><絵手紙講習会> 9月14日(水)午後1時30分~ 講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒー つき) 次回は11月10日(水)です</p>
<p><楽しい理科の実験 N045ハーブティー、シャーベット> 9月30日(金)13時30分~ 講師木下章司さん 参加費300円(コーヒーつき) 持ち物 なし 初めての方もどうぞ</p>

＜あんなこと・こんなこと＞

*今回は随分遅くなりました。中々書
けなくて苦労しました。大人が自分
の利益の事ではなく、他の人のこと

にも心を馳せることができたならこの
社会は住みやすくなるのでしょうか。
今の状態はほど遠いです。くじけず
に。(うえたに じゅんこ)